

無我夢中の年月

東京都 さくら

長男の発病

長男が発病したのは、25歳の時でした。会社の上司から電話があり、「息子さんの様子がおかしい」と言われ、すぐに会社に駆けつけました。

上司と息子と私の3人で横浜の病院を受診しました。医師は「今のところはなんでもないようですが、少々社会に適合しにくいのかな?」という話でしたので、あくる日から会社に戻りました。

しかし、数日してまた会社から電話で、すこしハイの状態というので、辞めるようにと言われました。仕方がないことと考虑、アパート生活していた息

子を連れ帰り、自宅で様子を見ることにしました。

激しい症状と入院

バイクの音がすると窓を開けて「うるさい!!」と怒鳴り、目つきが強くなり眠っていないと気付き、その結果のイライラだと思いました。

すぐに病院を受診しましたが、診断は不眠からきているという状態といわれ、1週間後にまた来院するように言われました。私としては、すぐに入院を希望しましたが、満床ということで断られ、長男はアパートに戻りました。

1週間様子を見ようとしていた矢先、アパートの大家さんか

ら「何かイライラして部屋の天井に穴をあけてしまった。来てください」という連絡があり、すぐに行ったところ、「上に太った人が住んでいてミシミシと音

がうるさい!! 上に向かって棒でつついたら、穴があいてしまった」というのです。

このイライラを他人にぶつけては大変と思い、病院に連絡して、入院できる病院を紹介されました。しかし、本人は嫌がっており、私一人では入院させられないので、別れた夫の行方を友人たちに頼み、やっと見つかり、車で入院することができました。

入院時の暴言

「こんな病院に騙してつれてきやがって、それが親か!!」と絶叫されましたが、私は早く楽にしてあげたい一心でした。

担当の女医は「まずは薬で不

眠をとってあげましょう。そのためには個室で3日間は鍵をかけ、食事以外は眠らせますが……」と説明されました。

鍵のかかる病棟に入るとき「てめえなんか、母親とも思わない!! 一生恨むからな!!」という長男の言葉に、私はその場で人目もはばからず号泣して床に泣き伏してしまいました。

夫には「面倒見きれない!!」と言われ、それなら一人で闘ってみせると奮い立ったのですが、仕事をしながら2時間半かかる病院通いは、正直、心身共にクタクタになりました。

機嫌の悪いときは5分もしないうちに「帰れ!!」と言われ、悲しい思いで帰路につきました。

